

◎環境政策の経費

環境基本計画推進事業

【 環境政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標の達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

【事業の内容】

(1) 環境基本計画推進事業

- ・ 環境審議会で、環境基本計画<第2期>の15の目標について、環境白書により年度毎の進行状況を把握した。
- ・ 環境保全団体等に対する通信助成及び環境保全団体等が行う学習会等への講師の派遣助成を行った。
- ・ 地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、「かまくら環境保全推進会議」を通じて、環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・ 環境経営システムを推進するため、環境カウンセラーを事業所に派遣しエコアクション21導入に向けて指導を行った。
- ・ 環境教育の推進を図るため、環境教育を担うことのできる人材を派遣した。
- ・ 雨水の利用を推進するため、雨水貯留槽の設置経費の助成を行った。
- ・ 地球温暖化対策を進めるため、市施設の白熱電球を電球型蛍光灯に交換した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

環境政策の推進(3-3-6-①)

環境教育の推進(3-3-6-②)

雨水利用の促進(3-3-6-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,751	10,783	8,749		2,034
主な支出内訳				
・ 環境基本計画推進事業				
環境審議会委員報酬 11人				296
事務補助嘱託員報酬 2人				2,016
環境保全に関する講師謝礼				17
学習会事業等講師謝礼				80
かまくら環境保全推進会議委員謝礼				114
エコアクション21普及アドバイザー等謝礼				345
環境教育に関する講師謝礼				416
事務補助嘱託員費用弁償				131
地球温暖化対策地域推進計画、環境教育推進計画普及冊子印刷製本費				152
新聞・ダンボール・クラフト・牛乳パック回収運搬料				1,132
ミックスペーパー等回収・資源化業務委託料				0
雨水貯留槽購入費補助金(交付件数31件)				487
電球型蛍光灯購入				3,247

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	□サービス部門 環境-02 環境基本計画推進事業 ■支援部門							
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1314 環境審議会他						
		1314 環境保全活動への支援事業他						
		1314 環境教育の人材派遣						
主管課	環境政策課	関連課	環境保全課					
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	(1)市域の環境マネジメント (2)市役所の環境マネジメント (3)環境に関する普及啓発							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯				
運営資源 状 況	決算値	8,749千円	5,697千円	5,117千円				
	(国・県)							
	(負担金等)	228千円	68千円	48千円				
	(一般財源)	8,521千円	5,629千円	5,069千円				
	人員配置数	3.0人	3.0人	3.0人				
	人 件 費	27,852千円	27,826千円	28,000千円				
協働の パートナー	環境保全団体、商工会議所 等事業団体	環境保全団体、商工会議所 等事業団体	環境保全団体、商工会議所 等事業団体					
事務事業 運営経費	総事業費	36,601千円	33,523千円	33,117千円				
	市民1人当 りの経費	207円	191円	189円				
	対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価								
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※			
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(20年度)	
エコアクション21登録事 業所数	△	目標値	60	60			60	
		実績値	28	29			29	
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
エコショップ認定店舗数		目標値			30	30	150	
		実績値						
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
エコ商店街認定数		目標値			1	1	5	
		実績値						
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)	
		目標値						
		実績値						
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している								
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)								
団体名								

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ①「かまくらエコアクション21」普及に向けてアドバイザー派遣などの支援策を実施しているが登録事業所数の拡大が図られていない。 ②平成20年3月に策定した「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」の目標を達成するためのプロジェクトの推進体制の整備と具体的な施策の検討及び実施
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①「かまくらエコアクション21」普及のため神奈川県と共同で環境マネジメント説明会を鎌倉市で開催し、制度のPRIに努めた。また、「かまくら環境保全推進会議」の「エコ企業プロジェクト部会」において小規模な事業者がより簡便な方法で環境への取組を進める「エコショップ・エコ商店街認定制度」の検討を行った。 ②「かまくら環境保全推進会議」に温暖化対策を推進するための組織として「エコライフ認識プロジェクト部会」、「エコライフ実践プロジェクト部会」、「エコ企業プロジェクト部会」を設置して、様々な取組を検討し、「地球温暖化対策フォーラム」や1日版環境家計簿「エコライフ鎌倉」などを実施した。平成21年度に向けて「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」などの新規事業を検討した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ①「かまくらエコアクション21」に関心を持つ事業所に環境アドバイザーを派遣して登録を促しているが、エコアクションへの関心が登録につながらない例が多い。 ②平成19年度の市域の温室効果ガスの排出量は、基準年である平成15年度に比べて6.3%減少したが、「鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画」の温室効果ガスの削減目標である21.9%を達成するためには、市域の温室効果ガス排出量の約4割を占める家庭部門への取組をさらに推進する必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①「かまくらエコアクション21」の普及を図るため、事業者の取組への関心が登録につながらない問題点をリサーチし、サポート方法を検討するとともに、より簡便な方法で環境への取組を進めるエコショップ・エコ商店街認定制度に関する事業者への働きかけを推進する。 ②「緑のカーテン普及事業」、「省エネ啓発機器の貸出事業」、「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」など新たな施策を通じて、家庭部門における地球温暖化対策を推進する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	「かまくらエコアクション21」の普及については問題点を把握し、登録へ向けての取組を工夫し普及に努める。 地球温暖化対策については、これまでの施策を継続するとともに家庭部門へは「緑のカーテン普及事業」や「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」などを、事業者へは「エコショップ・エコ商店街認定制度」などの新たな施策を実施して市域の温室効果ガスの削減に努める。		
担当課長氏名:	環境政策課長 出澤 誠		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	「かまくらエコアクション21」普及への取組を継続するほか、新たな施策を通じて市域の地球温暖化対策を推進するように努めます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋